

産業廃棄物の一連の処理の行程
令和7年度
(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

受け入れ → 計量(総量管理)

受入量 25729.8t

処理前保管量 0t
処理後保管量 2175.3t

持出量 26650.9t

廃プラスチック類
2747.3t 10.68%

廃プラスチック類	1017.6t	3.96%
金属くず	816.9t	3.17%
木くず	1648.6t	6.41%
がれき類	2466.0t	9.58%
繊維くず	.0t	0.00%
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	5967.9t	23.19%
紙くず	38.1t	0.15%
ゴムくず	.0t	0.00%
安定型混合廃棄物	269.9t	1.05%
管理型混合廃棄物	10645.4t	

蛍光管
103.6t 0.40%

乾電池
8.57t 0.03%

木くず	.0t	0.00%
繊維くず	.0t	0.00%
紙くず	.0t	0.00%
動植物性残さ	.0t	0.00%

破碎
2557.7t

選別・破碎
22870.4t

蛍光管の破碎
103.6t

選別
8.57t

焼却
.0t

(管理型混合廃棄物内焼却物含む)

(廃プラスチック類)

(ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)

(金属くず)

(木くず)

(紙くず)

(がれき類)

(石膏ボード)

(混合廃棄物)

(混合廃棄物)

最終処分先
N社(管理型埋立処分等)
22.0t

再生委託先
S社(セメント原料・再生砂利等)他1社
93.0t

処理委託・売却先
R社(プラスチック原料として利用、他7社)
3021.3t 11.3%

再生委託先
A社(RPF等として利用、他7社)
1646.9t 6.2%

処理委託先
B社(焼却処分、他3社)
1186.9t 4.5%

最終処分先
C社(安定型処分場へ埋立、他1社)
293.4t 1.1%

再生委託先
D社(ガラスびん原料(カレット)等として利用)
11.5t 0.0%

最終処分先
E社(安定型処分場へ埋立、他1社)
6070.0t 22.8%

処理委託・売却先
F社(製鋼原料として利用、他4社)
3788.4t 14.2%

再生委託先
G社(燃料チップとして利用、他1社)
2177.0t 8.2%

処理委託・売却
H社(再生紙として利用)
142.50t 0.5%

再生委託先
I社(再生砕石として利用、他3社)
2550t 9.6%

最終処分先
J社(安定型処分場へ埋立)
2178t 8.2%

再生委託先
K社(再生石膏ボードとして利用)
354t 1.3%

最終処分先
L社(管理型埋立処分等、他1社)
3031t 11.4%

再生委託先
M社(破碎等)
115t 0.4%

再生委託先
O社(蛍光管原料として利用)
79.7t 0.3%

再生委託先
O社(微量要素肥料原料等として利用)
5.8t 0.0%

再中間処理先
P社(混練造粒)
.0t 0.0%

再生委託先
Q社(路盤材、再生砂として利用)
.00t

※ その他の品目は実績無し。